



地下1階フロアは、さまざまなもてなしに利用できる多目的スペース。大型ジャグジーを備えた洋室のほか、本格的な茶室を備えた和室、水琴窟をしつらえた日本庭園がある

## 建築家が追求し続ける

美しさと強さを兼ね備えた心豊かな住まい。  
それが、HOPデザインです。



### 石出 和博

Kazuhiro Ishide

建築家  
一級建築士事務所アトリエAM代表取締役所長  
HOPグループ代表 CEO

89年一級建築士事務所アトリエAM(株)設立、全国で作品を発表。  
96年林野庁と北海道の支援を受け、新しい住宅供給システムHOPを設立  
育て上げた。2001年林野庁長官賞、2006年経済産業大臣賞、  
(消費者志向優良企業)、2010年経済産業省JVA環境特別賞受賞  
など。著書に「家を建てる前に読む本」ハウズクター診察室(2005年刊)  
石出和博とアトリエAMの世界(2008年刊ART BOX社)などがある。

# HOP

Housing Operation Project Group

## ハウジングオペレーションアーキテツInc.

HOP東日本 横浜市西区みなとみらい2-3-1クイーンズタワーA棟 7F  
HOP札幌 札幌市中央区北4条西21丁目2-1 FUJITA BLD.  
横浜・札幌・京都・旭川・帯広

※HOP住宅作品集をさし上げます。下記までお問い合わせください。

☎ 0120-55-2486

www.hophouse.co.jp

HOP

検索

住まう家族が生涯をかけて愛することができる、品格のある住まいを実現するため、設計から施工まで一貫した体制を整えました。室内の造作から小さな金具ひとつまで、丁寧に手づくりするのも、そうした想いの現れです。住まう家族が夢や憧れを語り合い、少しずつ理想の空間やしつらえを見出していく楽しみ。その感動を、多くのご家族と共有するため、HOPは東京、神奈川、軽井沢をはじめ、全国で独自の住まいづくりを展開しています。



ダイニングキッチンは、隣接するリビングとは対照的に天井高を抑え、空間構成もシンプルにまとめられている。自然光と無垢材の床、天井に包まれるミニマムな空間は、落ち着いた雰囲気を感じる。



瀟洒な邸宅の白眉は、吹き抜けの高さそのまま生かした大開口をしつらえたLD。壮大なガラスのスクリーン越しに、光や木々の四季の移ろいから眼下に広がる都心のビル群の街灯りまで、1日中、さまざまな街の表情を楽しむことができる



公道に面した北東面は、開口を最小限に。緩やかなアールを描く柵引の御影石や繊細な外構フェンスが、端正なファサードにやさしいニュアンスをまとうせて

本物の住まいとは、健康的で心地よく、ライフスタイルの変化に  
しなやかに寄り添い、歳月を経て深みを増す美しさを持っています。

ハウジングオペレーションアーキテツ(HOP)は、美的な発想を  
カタチにし、高いデザイン性、品質を具現化するため、無垢材をはじめ  
とする自然素材を生かした伝統的な木造軸組み工法を採用して  
います。さらに、独自のHOP工法により、在来工法の2.5倍の強度と  
耐久性を実現しました。

私たちは「森を建てよう。」という理念を掲げ、国産材の活用を徹底。  
これにより、植・育林のサイクルを進め、森林の荒廃に歯止めをかける  
一助になることを願っています。木材を使って家を建てることで、森林が  
吸収した二酸化炭素を定着させることができ、快適な環境を守る事  
にもつながることが期待されます。また、あたたかも「森に住まう」か  
のような、自然の息吹に満ちた心豊かな住まいをお届けしたいという、  
想いも込められています。